

今度こそ市民派市長を誕生させましょう!

検温、マスク着用にて参加をお願いいたします。

# 桜井よしのり さんを 励ます市民の集い



主催：市民が主役の市政を実現する会

日時：2月20日(土)午後2:00～4:00

会場：勝田台文化センター(3階ホール)

## ◆桜井よしのりさんのプロフィール◆

八千代市米本在住40年。1953年4月佐賀県伊万里市生まれ。67才。

東京都職員、墨田区職員として主に福祉行政に携わり、福祉問題に造詣が深い。行政マン時代からの座右の銘は「行政サービスの原点は福祉にあり、学びは支援を必要とする生活者にあり」。

近年では「阿蘇・米本の地域と学校を考える会」代表として、阿蘇・米本地域での小中学校統廃合反対運動を先頭で取り組んできました。元阿蘇中学校PTA会長。

## ●公約違反で市民の期待を裏切った服部市長!

服部市政の4年間をみて皆さんは、どう思われたでしょうか。服部市長は自民党推薦で市長選に立候補。「ハットリノミクス」と称し、2大看板として「①東京メトロとの合併による運賃値下げ ②京成線の高架化と八千代台・大和田・勝田台駅周辺の開

発」を公約に掲げましたが、一步も前進せず1期を終えようとしています。その点を議会で追及されても言い訳に終始し、現状も今後の見通しも語れない始末です。これは明らかに公約破りであり、期待して投票した有権者に対する裏切りでもあります。

## ●服部市政では財政の健全化はできない!

八千代市は慢性的な財政難状態にあり約512億円もの借金を抱えており、経常収支比率(家庭でいえば毎月の給料に占める支払いの比率。数値が高いほど家計が苦しい)が5年連続で悪化を続けて

おり、昨年度は97.3%で殆ど余裕がありません。その他の数値も同様で、八千代市にとって最大の課題ともいえる財政健全化についても服部市政は落第点です。

## ●このままでは公共施設の統廃合で住みづらい八千代になる!

いま服部市政で検討されているのが大規模な公共施設の削減と統廃合計画です。平成27年からの八千代市公共施設等総合管理計画により、「公共施設等全体の修繕・更新等の発生時期を見通す」ことを目的とされた第1次アクションプランが昨年度で終了し、具体的に選定作業をするのが今年度から開始される「公共施設等個別施設計画」です。

市が不要と判断した施設は削減か統廃合へ。事実、「小中一貫校」を名目に地元の声を無視して米本小、米本南小、阿蘇小を廃校にして生徒たちを

阿蘇中の校舎へそのまま押し込む計画です。また、子どもたちへの貴重な自然教育施設の少年自然の家、八千代台自治会館の廃止、高津支所の移転、ふれあいサロンやちよ東の廃止、大和田公民館・図書館の仮設化など、市民の不便さなどお構いなしです。市は最終的には約3割の公共施設の削減と統廃合をめざしています。このままでは、市の財政難のシワ寄せを市民に押しつける20万人都市とは名ばかりの住みづらい街になってしまいます。(裏面へ続く)